

大飯発電所における安全確保対策の現地確認結果について

平成24年10月16日
滋賀県防災危機管理局

本日、関西電力(株)大飯発電所3、4号機の安全確保対策の進捗状況について、京都府と合同で、滋賀県原子力防災専門委員会委員等による現地確認を行いましたので、その結果をお知らせします。

記

- 1 確認実施日時
平成24年10月16日(火) 午後1時30分～午後3時30分
- 2 対象施設
関西電力(株)大飯発電所(福井県大飯郡おおい町大島)
- 3 確認者

| | | |
|-----------------------------------|----------------------------|---|
| みさわ つよし 三澤 毅 | 京都大学原子炉実験所教授 | ・京都府原子力防災専門委員 ・京都府防災会議地域防災の見直し部会委員 |
| まき のりお 牧 紀男 | 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター准教授 | ・京都府防災会議地域防災の見直し部会委員 ・滋賀県原子力防災専門委員会委員長 |
| たけだ としかず 竹田 敏一 | 福井大学附属国際原子力工学研 究所長 | ・滋賀県原子力防災専門委員会委員長職務代理者 |
| 滋賀県防災危機管理局および京都府府民生活部防災・原子力安全課の職員 | | |

- 4 説明者
関西電力(株) 原子力事業本部 原子力発電部長 松永 知也
大飯発電所 所長 鈴木 聡
副所長 中西 繁孝

- 5 確認事項等
(1) 趣旨・目的
9月末までに完了する予定であった対策について状況を確認するとともに、進捗中の取組状況を確認
(2) 確認事項
平成24年7月以降に完了した5項目について確認

| 対策等 | 実施内容 |
|---------------------------------|--|
| 外部電源システムの信頼性向上 【対策1-】 | ・鉄塔基礎盛土崩壊や地すべり、急傾斜地の土砂崩壊の影響を評価し、必要な対策を実施 |
| 外部電源設備の迅速な復旧 【対策4-】 | ・復旧手順を定めたマニュアルを整備、必要な資機材を確保 |
| 浸水対策の強化 【対策6-、6-】 | ・水密扉への取替の実施 ・可搬式ポンプ等浸水時の排水機能の確保 |
| 3号機浸水口の津波による漂流物防護柵の強化 【取組4-】 | ・浸水口手前に車両等の漂流物進入を防止する鋼製門扉を設置 |

技術的知見に関する30の安全対策および原子力安全・保安院がストレステスト一次評価の審査において一層の取組を求めた事項のうち、平成24年7月から現時点までに完了したもの
平成24年7月の現地確認は、京都府が単独で実施

(3) 委員の講評

- ・上記の項目については、計画に沿って実施されていることを確認した。
また、ハード対策に合わせてマニュアル化、訓練等のソフト対策(シビアアクシデント対応も含め)の徹底を要請した。
- ・免震事務棟のためのボーリング調査、防波堤かさ上げ工事等については、整備が進捗していることを確認した。
- ・実施すべき項目については、できる限りの前倒し実施とともに引き続き安全確保対策の徹底を要請した。

〔漂流物防止門扉〕



〔3号機水密扉〕



〔防波堤〕



〔免震事務棟ボーリング〕



大飯発電所における安全確保対策の現地確認結果について

竹田先生の講評

- ・ 水密扉等を見せていただき、浸水対策のハード面については大丈夫だと確信した。
しかし、重要なのは、ハードとソフトの組み合わせであり、どのように管理しているかがポイント。そのため、SBO (Station Blackout 全電源喪失) 等のシビアアクシデントに対応する訓練や手順書の作成などの対策も必要である。また、手順書の作成に対しては、時間軸を考慮に入れ検討することが必要である。
- ・ テロ対策が必要であり、特に核テロ対策は特に重要であるが難しい部分である。